

平成 27 年度事業報告

1. 一般研究助成

1. 第35回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第35巻を刊行した。
2. 第36回一般研究助成は、応募件数40課題を審査、8課題を選考した。
3. 第35回研究発表会、第36回一般研究助成贈呈式を開催(2015. 12. 4)。

平成27年度 第36回一般研究助成金受賞者および研究課題は次のとおり。

応募者氏名	応募者所属施設名	研究課題
伊佐山 浩通	東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学	膀胱癌に対する新規化学療法の開発
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科	高齢者骨髄性腫瘍に対する毒性軽減移植前処置を用いた臍帯血移植
佐伯 浩司	九州大学病院 消化管外科②	食道癌術前治療の効果予測分子バイオマーカーに関する多施設共同観察研究
杉村 啓二郎	大阪府立成人病センター	他臓器浸潤胸部食道癌に対する根治切除術を可能にするための最適な初期治療法の確立
瀧口 修司	大阪大学医学系研究科 外科学講座 消化器外科	手術侵襲を誘因とするがん増殖・転移促進作用に対する合成グレリンによる新規予防策の開発
藤阪 保仁	大阪医科大学附属病院 臨床研究センター	高齢者切除不能局所進行肺扁平上皮癌に対するネダプラチン+胸部放射線同時併用療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験
前田 亮	藤田保健衛生大学 心臓血管外科・呼吸器外科	がん微小環境を標的とした間質性肺炎合併肺がんに対する革新的治療法の構築
若槻 尊	がん研究会有明病院 消化器内科	切除不能進行再発大腸癌患者に対するレゴラフェニブの薬物動態および毒性と遺伝子多型の多施設共同研究

2. 臨床研究

JFMC33-0502: Stage II B/III大腸癌に対する術後補助化学療法としてのUFT/LV経口療法の治療スケジュールに関する第III相比較臨床試験

1. 英文論文を発表した。(Ann Oncol. 2015 Nov;26(11):2274-80.)

JFMC34-0601: ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討(臨床第II相試験)

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。

JFMC35-C1 (ACTS-RC) (受託試験): 術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)

1. 学会発表を行った。(ASCO2015, 2015. 5. 29~6. 2/JDDW2015, 2015. 10. 8~11
第53回 日本癌治療学会, 2015. 10. 29~31)
2. 英文論文を投稿中。(Annals of OncologyにAccept 2016. 3. 29)

JFMC36-0701: 進行・再発胃癌に対するTS-1単独療法/ TS-1+レンチナン併用療法による第III相試験

1. 学会発表を行った。(ESMO2015, 2015. 9. 25~29)
2. 英文論文を投稿中。

- JFMC37-0801:** StageⅢ (Dukes'C) 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験
1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
 2. 最終解析を実施中。
- JFMC37-0801 (付随研究):** 結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査
1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
 2. 最終解析を実施中。
- JFMC38-0901:** pTNM stageⅡ直腸癌症例に対する手術単独療法及びUFT/PSK療法のランダム化第Ⅲ相比較臨床試験
1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
- JFMC39-0902:** 大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯 (DKT:TJ-100) の臨床的効果 (プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)
1. 英文論文を発表した。(Jpn J Clin Oncol. 2015 Jul;45(7):650-6.)
- JFMC39-0902 (付随研究):** 大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯 (DKT:TJ-100) の臨床的効果 (プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)
付随研究: 消化管通過時間を指標として
1. 英文論文を発表した。(J Gastroenterol. 2016 Mar;51(3):222-9.)
- JFMC41-1001-C2 (受託試験):** StageⅡ/StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討
1. 安全性に関する英文論文を発表した。(Cancer Chemother Pharmacol. 2015 Jul;76(1):75-84.)
 2. 最終解析を実施中。
 3. 最終解析結果検討会を開催した。(2016.3.31)
- JFMC41-1001-C2 (付随研究) (受託試験):** StageⅡ/StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー
1. プロトコール期間中の情報で英文論文を投稿中。(Annals of OncologyにAccept 2016.2.15)
 2. 最終解析を実施中。
- JFMC42-1002:** 開腹下胃全摘術施行後の消化管機能異常に対する大建中湯 (DKT:TJ-100) の臨床的効果～予防的効果に関する探索的検討～ (プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)
1. 英文論文を発表した。(J Am Coll Surg. 2015 Aug;221(2):571-8.)
- JFMC43-1003:** 切除不能進行・再発胃癌症例に対するTS-1の連日投与法および隔日投与法のランダム化第Ⅱ相試験
1. 英文論文を投稿中。
- JFMC44-1101:** 治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討ー観察研究ー
1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
 2. HER2発現頻度に関する英文論文を発表した。(Gastric Cancer. 2015 Aug 12.)
- JFMC45-1102:** 前治療歴を有するHER2強陽性(IHC3+または、IHC2+かつFISH+) 進行・再発胃癌症例を対象とするトラスツズマブ/パクリタキセル併用療法ー第II相試験ー
1. 英文論文を投稿中。

JFMC46-1201:再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. EDCによる症例集積を行った。
(1910例集積済; 解析対例数: 1218/目標解析対象例数: 1200 2016. 3. 31現在)
2. 第3回 定期モニタリングレポートを作成した。

JFMC47-1202-C3 (受託試験): Stage III結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. 第3回 定期モニタリングレポートを作成した。
3. プロトコル治療期間中の安全性に関する解析を実施した。
4. 安全性解析結果検討会を開催した。(2015. 12. 24)

JFMC47-1202-C3 (付随研究) (受託試験): Stage III結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. プロトコル治療期間中の情報で遺伝子解析を実施した。

JFMC48-1301-C4 (受託試験): 再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによる症例集積を行った。(385例集積済/目標500例 2016. 3. 31現在)
2. 第2回 定期モニタリングレポートを作成した。

・平成27年度 臨床研究明細一覧は次のとおり。

2016.3.31現在

JFMC	集積期間	追跡期間	登録施設/参加施設	集積数/目標数	現在の状況
33	2005.10-2007.9	~2012.9	233/261(89.3%)	1071/840(127.5%)	英文論文発表
34	2006.3-2007.12	~2018.8	30/37(81.1%)	116/110(105.4%)	追跡中
35-C1	2006.4-2009.3	~2014.3	222/242(91.7%)	961/800(120.1%)	英文論文投稿中
36	2007.2-2010.6	~2012.6	97/146(66.4%)	309/300(103.0%)	英文論文投稿中
37	2008.9-2009.12	~2014.12	333/410(81.2%)	1306/1200(108.8%)	最終解析中
37付随研究	2009.1-2009.12	~2014.12	48/65(73.8%)	171/300(57.0%)	最終解析中
38	2009.1-2011.12	~2016.12	62/150(41.3%)	111/540(20.5%)	追跡中
39	2009.1-2011.6	~2014.7	51/65(78.5%)	386/400(96.5%)	英文論文発表
39付随研究	2009.10-2011.6	-	11/20(55.0%)	88/100(88.0%)	英文論文発表
41	2010.11-2012.3	~2015.3	198/257(77.0%)	882/800(110.2%)	最終解析中
41付随研究	2011.1-2012.12	-	100/128(78.1%)	486/800(60.7%)	最終解析中
42	2011.1-2012.12	~2013.1	40/44(90.9%)	245/240(102.0%)	英文論文発表
43	2010.12-2013.3	~2014.3	25/26(96.1%)	132/120(110.0%)	英文論文投稿中
44	2011.9-2012.6	~2015.7	157/200(78.5%)	1466/1200(122.1%)	最終解析中
45	2011.9-2012.3	~2013.3	35/165(21.2%)	47/35(134.2%)	英文論文投稿中
46	2012.5-2016.4	~2021.4	320/395(81.0%)	1218/1200(101.5%)	集積中
47	2012.8-2014.6	~2020.6	244/318(76.7%)	1313/1200(109.4%)	追跡中
47付随研究	2012.8-2014.12	-	159/244(65.2%)	893/1200(74.3%)	追跡中
48	2014.2-2017.1	~2024.1	84/159(52.8%)	385/500(77.0%)	集積中

3. 臨床試験審査委員会

JFMC46-1201研究実施計画書改訂について審議した。
JFMC48-1301-C4研究実施計画書改訂について審議した。

4. 倫理委員会

JFMC34-0601研究実施計画書改訂について審議した。
JFMC46-1201研究実施計画書改訂について審議した。
JFMC48-1301-C4研究実施計画書改訂について審議した。
第29回 倫理委員会を開催した。(2015. 5. 28)

5. 臨床研究開発・推進委員会

第2回 臨床研究開発・推進委員会（メール会議）を実施した。
委員長・幹事会・ブロック長によるコア会議を開催した。(2015. 10. 29)

6. 研究論文支援委員会

第1回 研究論文支援委員会を開催した。(2015. 8. 31)
第2回 研究論文支援委員会を開催した。(2015. 12. 24)
第3回 研究論文支援委員会を開催した。(2016. 3. 30)
JFMC32に関する英文論文を発表した。(J Cancer Ther Res. 2016 Mar [ahead of print])

7. 医療機器委員会

医療機器委員会を設置した。

8. 講演会及び講習会等事業

日本生活習慣病予防協会（理事長 池田義雄先生）と共催で市民公開講座を開催した。市民公開講座開催にあたり、本田麻由美理事から読売新聞社にご協力頂き、読売新聞紙面で開催の広告を頂いた。

日時：平成28年2月3日（水）13：30～15：45 日比谷コンベンションホール

講演会出席者 97名

当日は、佐治重豊 理事長が座長をつとめ、”多接“に基づき岐阜保健短期大学学長 永井博弐先生より「笑う門には福来たるーガンと生活習慣病予防」をテーマに講演を行った。

9. 諸事業

がん集学財団ニュース

No. 41を刊行した。

ホームページ

メールマガジンの配信を開始した。(平成27年12月)

財団諸事業については、当財団ホームページで適宜情報を発信する。